

## 第17回行財政改革調査特別委員会会議記録

日時 令和5年2月21日（火曜日）  
場所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午前11時20分 開議  
午前11時35分 閉会

### 付託事件

#### (1) 行財政改革に関する事項

#### 1 本日の会議に付した事件

##### (1) 最終報告書（案）について

#### 2 出席委員（24名）

委員長	安 藏	栄 君	副委員長	栗 原文 隆 君
委員	滑 川 友 理 君		委員	萩 谷 慎 一 君
委員	土 田 記 代 美 君		委員	田 中 真 己 君
委員	中 庭 次 男 君		委員	佐 藤 昭 雄 君
委員	綿 引 健 君		委員	後 藤 通 子 君
委員	田 口 文 明 君		委員	森 正 慶 君
委員	鈴 木 宣 子 君		委員	黒 木 勇 君
委員	高 倉 富 士 男 君		委員	飯 田 正 美 君
委員	大 津 亮 一 君		委員	渡 辺 政 明 君
委員	袴 塚 孝 雄 君		委員	五 十 嵐 博 君
委員	小 川 勝 夫 君		委員	田 口 米 蔵 君
委員	松 本 勝 久 君		委員	福 島 辰 三 君

#### 3 欠席委員（1名）

委員 内 藤 丈 男 君

#### 4 委員外議員出席者（なし）

#### 5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田 尻 充 君	副市長	秋 葉 宗 志 君
市長公室長	小 田 木 健 治 君		
総務部長	園 部 孝 雄 君	総務部参事兼 行政経営課長	熊 田 泰 瑞 君
財務部長	白 田 敏 範 君	財政課長	佐 藤 直 明 君

#### 6 事務局職員出席者

事務局長 天 野 純 一 君 総務課長 加 藤 清 文 君

議事課長 大嶋 実君 議事係長 武井 俊夫君  
書記 昆 節夫君 書記 島田 祐輔君

午前11時20分 開議

○安藏委員長 それでは、引き続き、御苦労さまでございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから第17回行財政改革調査特別委員会を開催いたします。

議事に先立ちまして、内藤委員が所用のため欠席との連絡がありましたので、御報告いたします。

それでは、これより議事に入ります。

本日は、前回の委員会において正副委員長に御一任いただきました最終報告書の案文を取りまとめ、お手元に配付させていただきました。ただいまから、内容につきまして、副委員長に朗読をお願いいたしますので、お聞き取りをお願いします。

なお、着席のままで朗読させていただきますので、御了承願います。

それでは、栗原副委員長、よろしく申し上げます。

○栗原副委員長 行財政改革調査特別委員会最終報告書（案）。

さきの令和元年第2回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました行財政改革に関する事項の調査の経過等について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき最終報告します。

本市においては、市民が安心して暮らせる行財政運営の実現に向け、積極的な改革に取り組んできたところであり、本格的な人口減少など、今後、本市を取り巻く環境が大きく変化する中においても、将来にわたり発展する都市、市民が誇りを持てる都市としていくためには、より一層行政改革を徹底することで、強固な財政基盤を構築し、質の高い行政サービスを提供するとともに、その進捗状況等について調査、検討を行う必要があります。

そして、令和元年6月25日の第2回市議会定例会において、議長を除く全議員をもって当委員会を設置し、行財政改革に関する事項について付託を受け、議会が調査終了を議決するまで継続して調査を行うことが認められたものであります。

以来、今日まで17回にわたり委員会を開催し、行財政改革に関する事項について、慎重に調査、検討を重ねてまいりました。

このうち、第1回から第11回までの調査の経過等については、既に令和3年6月の第2回市議会定例会において中間報告を行っておりますので、内容の重複を避け、今回は、その後開催しました委員会調査の概要を中心に取りまとめ、最終報告します。

第12回委員会は、令和3年8月26日に開催し、執行部から、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画令和2年度実施状況について説明を受け、種々質疑応答を重ねました。

第13回委員会は、令和3年12月24日に開催し、執行部から、令和4年度子育て支援に係る行政組織の見直し（案）について説明を受け、こども部新設の目的及び人員体制について、福祉部、保健医療部及び教育委員会との連携体制等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「国に先駆けてこども部を新設するに当たり、その目的を明確にし、効果的な施策を推進されたい」等の意見が出されました。

また、委員から、新設するこども部の組織図について資料請求があり、委員会として請求することを決定しました。

第14回委員会は、令和4年2月10日に開催し、執行部から、前回の委員会に引き続き、子育て支援に

係る行政組織の見直し（案）について説明を受けた後、種々質疑応答を重ねました。

次に、執行部から、令和4年度行政組織の見直し（案）について説明を受け、デジタルイノベーション課、生活福祉課及び保健総務課地域医療対策室の組織体制について、新型コロナウイルス感染症に係る保健所への職員応援について、市街地整備課の係統合による事務分掌等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「デジタル化の推進に向けて、高齢者を取り残さない丁寧な施策をはじめ、外部人材の活用についても検討されたい」等の意見が出されました。

第15回委員会は、令和4年8月24日に開催し、執行部から、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画令和3年度実施状況について説明を受け、未利用財産を活用した歳入確保について、市営住宅家賃等使用料の未収金回収業務について、幼稚園の再編方針について、補助金・負担金の適正化について、放課後学級の運營業務委託について、保健所における時間外勤務縮減のための対策等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「未利用財産については、土地の形状や価格を見定め、効果的な活用・処分方法を検討されたい」等の意見が出されました。

続いて、委員から、総括的な意見として、「プランの実施状況の評価については、新型コロナウイルス感染症等の影響を踏まえ、適正な目標値に見直されたい」等の意見が出されました。

第16回委員会は、令和5年2月10日に開催し、執行部から、令和5年度行政組織の見直し（案）について説明を受けました。また、最終報告書の作成については、正副委員長に一任することを決定しました。

第17回委員会は、令和5年2月21日に開催し、最終報告書（案）について確認しました。

当委員会の現在に至るまでの調査の概要については、以上のとおりであります。

当委員会におきましては、これまで水戸市行財政改革プラン2016の実施状況や行政組織の見直しなど、行財政改革に関する事項について、調査、検討を進めてきたところであります。

本市においては、県内で初となる中核市への移行を果たし、保健所の設置や国に先駆けてのこども部の創設など行政サービスの向上が図られたものの、新型コロナウイルス感染症や物価高騰など、社会情勢は大きく変化しており、時代に沿った行財政改革がなお必要であります。

執行部においては、今後もより一層の財政の健全化と行政サービスの維持向上を目指し、全庁が一丸となって行財政改革プラン2016の適正な進行管理と徹底した行財政改革に取り組むことを求めるものであります。

終わりに、当委員会の調査に関しまして、御協力いただきました関係各位に対し、心から感謝の意を表しまして最終報告とします。

令和5年3月。

水戸市議会議長、須田浩和様。

行財政改革調査特別委員会委員長、安藏栄。

○安藏委員長 副委員長、ありがとうございました。

それでは、内容につきましては以上のとおりであります。

ただいまの案文について、何かございましたら、お願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安藏委員長 それでは、ただいまの最終報告書（案）のとおり、第1回水戸市議会定例会に最終報告させていただきます。なお、本会議における最終報告につきましては、私が概要報告書を朗読させていただくこととなりますので、御承知おき願います。

この際、田尻副市長から発言を求められておりますので、これを許します。

○田尻副市長 市長が公務のため出席ができませんで、謝罪の意を伝えますとともに、あわせまして、メッセージ、御挨拶のほうを代読させていただきます。

貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。行財政改革調査特別委員会の閉会に当たりまして、一言御礼の御挨拶を申し上げます。

本特別委員会につきましては、令和元年第2回水戸市議会定例会の本会議におきまして設置され、以来、安藏委員長、栗原副委員長のリーダーシップの下、委員各位におかれましては、17回にわたって行財政改革プラン2016の実施計画に基づく行財政改革の推進について慎重な御審議を賜り、厚く御礼申し上げます。

当委員会におきましては、中核市移行に伴う保健所の設置や子育て支援拡充のためのこども部の設置など、行政組織の見直しをはじめ、行財政改革プランに位置づけた30項目にわたる幅広い実施項目について、その実施状況等に関し、御審議をいただくとともに貴重な御意見をいただきました。

今後も委員の皆様からいただいた御意見を踏まえながら、全庁を挙げて行財政改革を推進し、さらなる市民サービスの向上や質の高い行政運営の実現を目指してまいります。

結びに当たりまして、特別委員会のこれまでの御努力に対し、改めて感謝、御礼を申し上げますとともに、今後とも御指導、御鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。御礼の御挨拶といたします。本当にありがとうございました。

○安藏委員長 それでは、当委員会を終了するに当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

皆様方には、当特別委員会の調査に当たりましては、本日を含め、計17回の委員会を開催し、慎重な御審議をいただきまして、心から感謝申し上げます。

委員長としての職務を無事全うすることができましたのも、委員の皆様や執行部の皆様方の御協力のたまものと改めて御礼を申し上げるところでございます。

ただいまの報告書にもございましたが、今後、執行部の皆様におかれましては、これまで各委員から出された御意見等を十分に踏まえていただきまして、より一層の財政の健全化と行政サービスの維持向上を目指し、ますます御尽力されますようお願いを申し上げます。甚だ簡単ではございますが、御礼の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

以上をもちまして、特別委員会を閉じます。ありがとうございました。

午前11時35分 閉会